

# 京都府漁海況情報

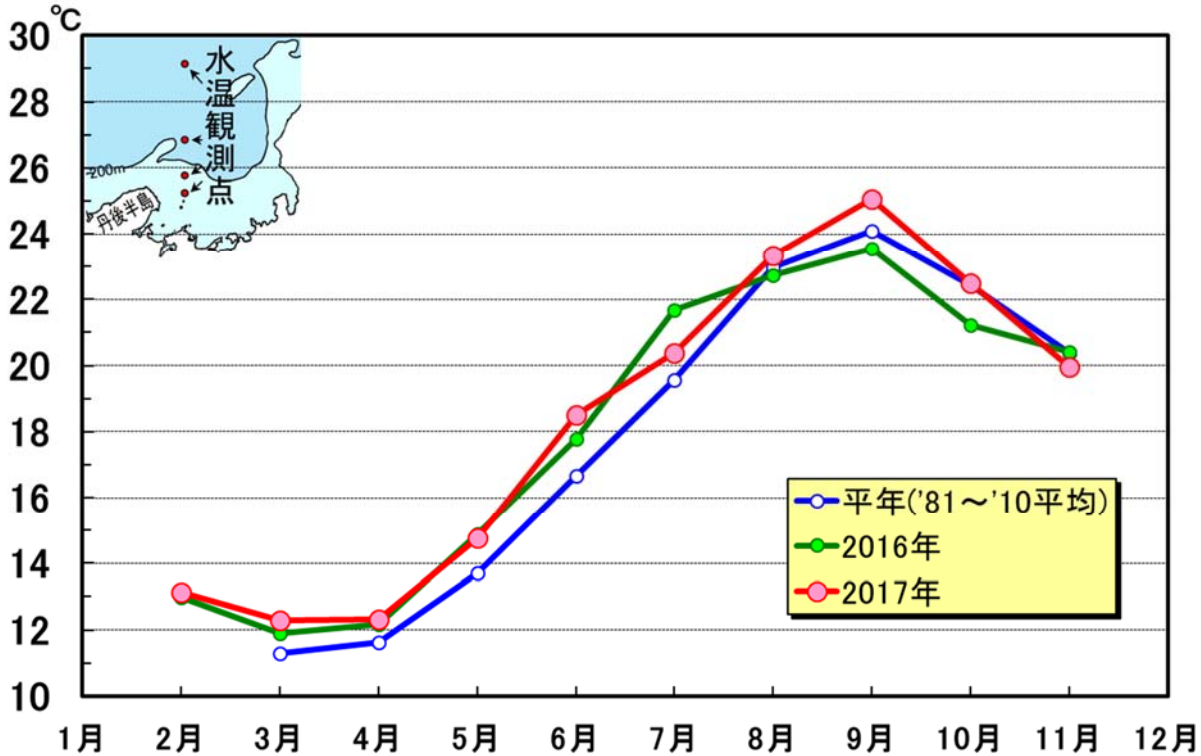
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 29 年 10～11 月における京都府周辺の表層水温は、「平年並み」～「平年よりやや低め」で推移していました。

京都府沖の表層水温 (0～50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	10 月	11 月	12 月
京都沖の表層水温	22.5 °C	20.0 °C	(観測なし)
前年比	+1.3 °C	-0.5 °C	—
平年比	+0.1 °C (平年並み)	-0.4 °C (やや低い)	—

10～12 月の天気まとめ

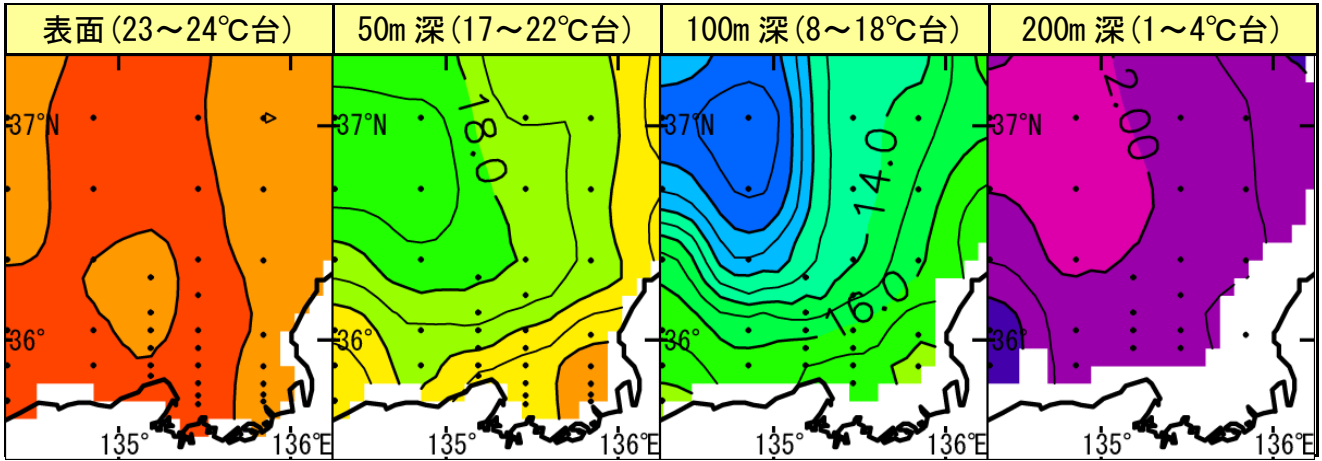
京都北部周辺の平均気温	平年より低かった。
京都北部周辺の降水量	平年よりかなり多かった。

資料元：気象庁

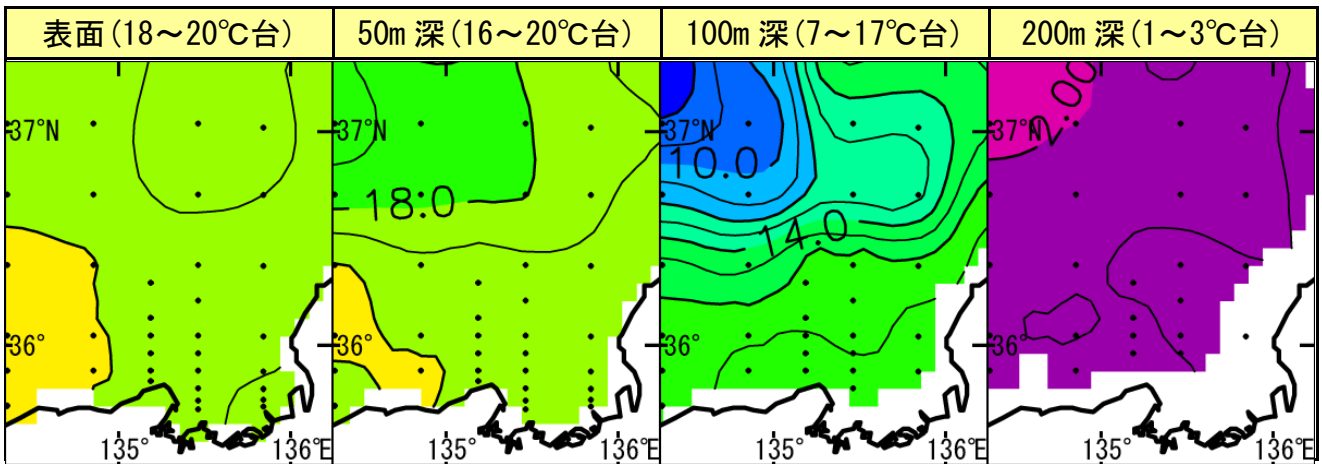
京都府周辺の各層水温(2017年10~12月)

10月上旬

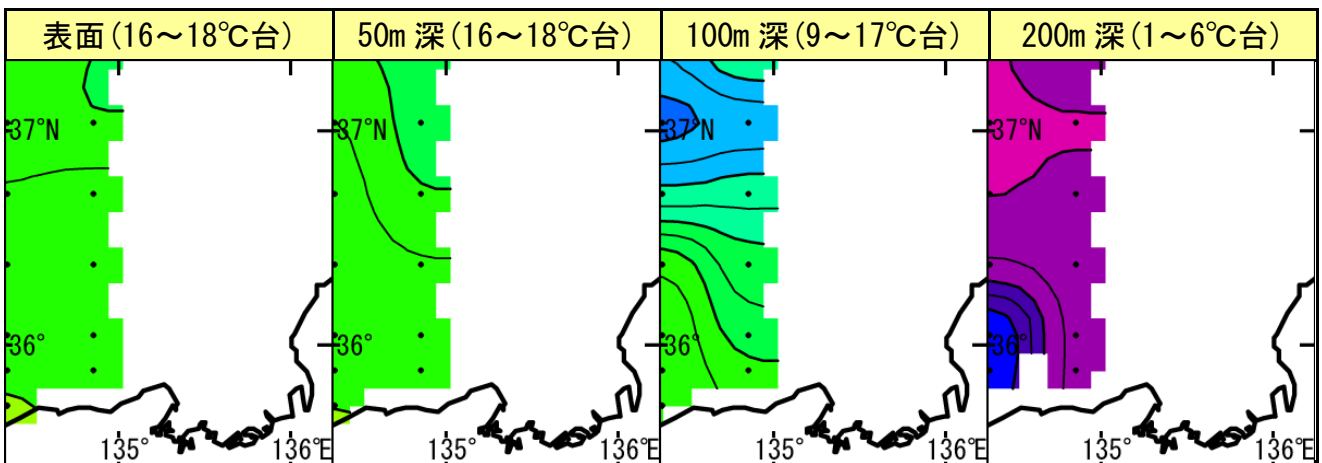
資料元：日本海区水産研究所



11月上旬



12月上旬



【今後の見込み】

資料元：気象庁

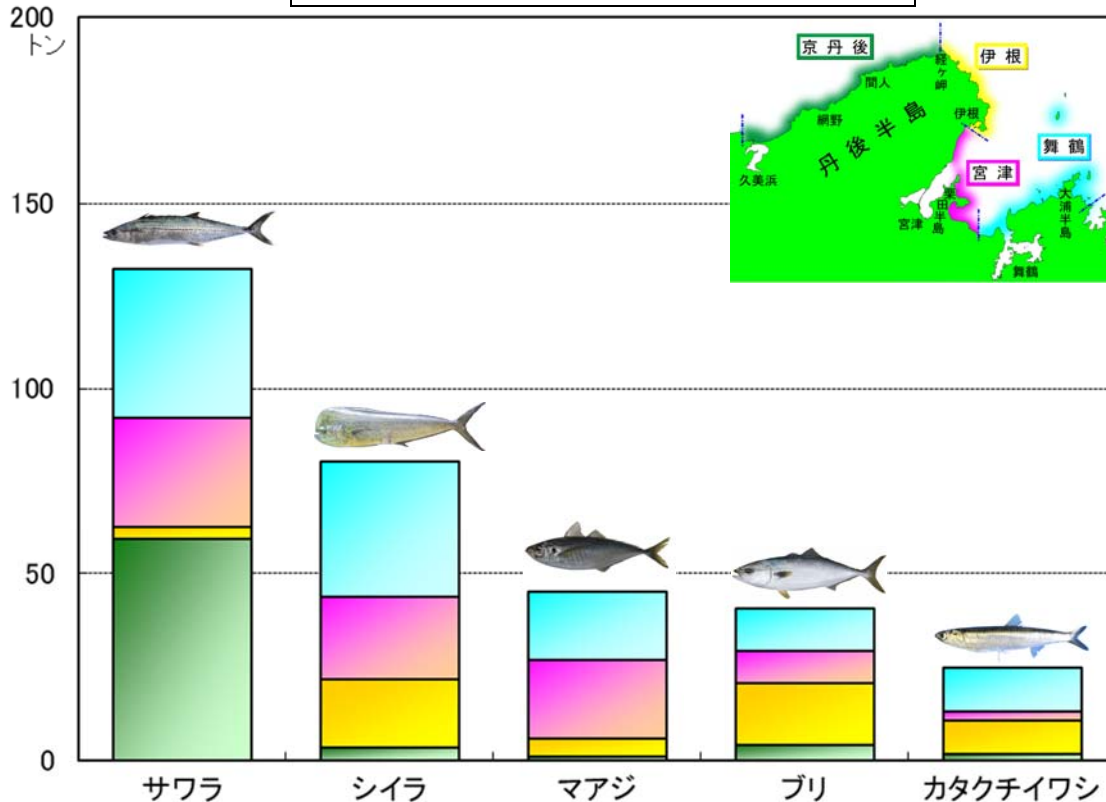
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」で推移する見込み

# 漁模様 2017年9月～11月

## 《定置網漁業》【9月】

タチウオが平年の1.5倍（前年の2.5倍）と好調でした。一方、サワラが平年の4割強（前年の4割弱）、マアジが平年の5割強（前年の7割弱）、ブリが平年の4割弱（前年の7割弱）と低調でした。全体では平年の5割弱（前年の6割強）と低調でした。

2017年9月の地域別漁獲量(上位5魚種)



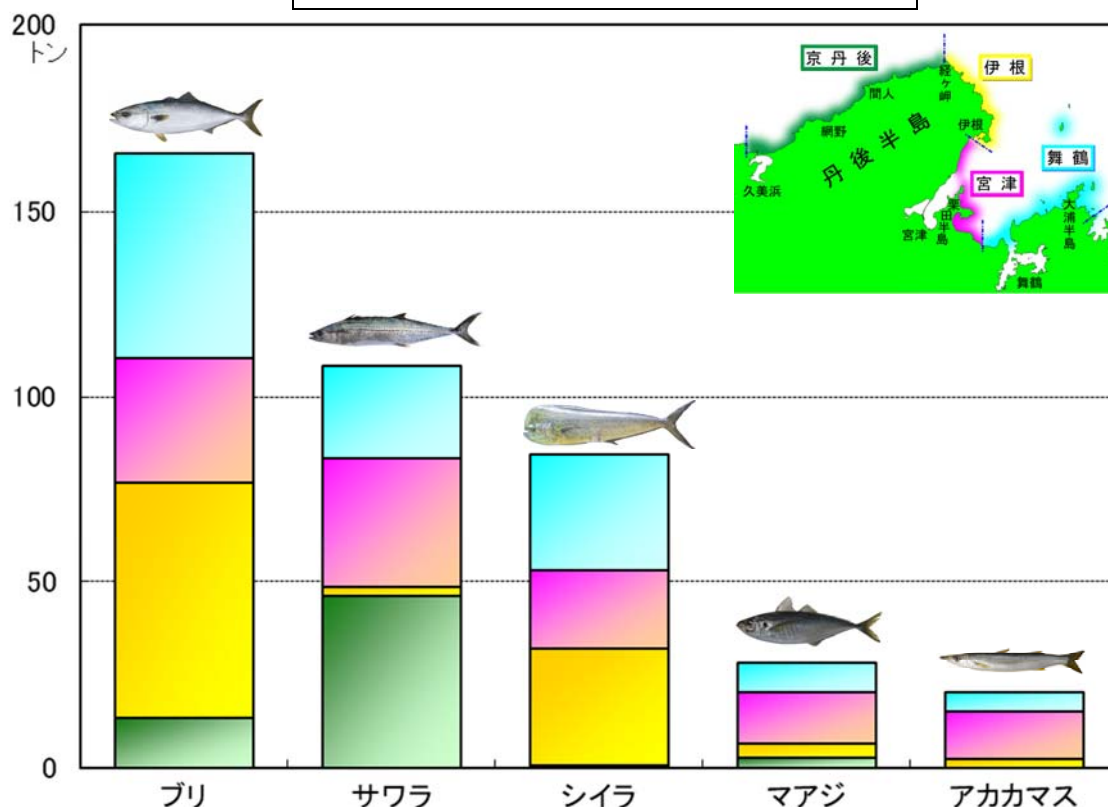
9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	132.0	362.6 (36%)	324.7 (41%)	<サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が9割弱, さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)が1割弱, やなぎ銘柄(0.4kg 未満)が1割弱, さわら大銘柄(3.0 kg以上)はごくわずかでした。
シイラ	80.2	115.0 (70%)	79.0 (102%)	
マアジ	45.1	68.8 (66%)	89.2 (51%)	
ブリ	40.6	60.9 (67%)	112.9 (36%)	
カタクチイワシ(たれ)	24.7	5.2 (476%)	74.4 (33%)	
サバ類	20.0	12.2 (163%)	18.2 (109%)	<ブリ> つばす銘柄が9割強, はまち銘柄が1割弱, ぶり銘柄, まるご銘柄はごくわずかでした。
シロサバフグ(さんきゅう)	18.0	10.0 (180%)	27.2 (66%)	
タチウオ	15.6	6.3 (247%)	10.1 (154%)	
イカ類	14.2	11.2 (127%)	21.5 (66%)	
アカカマス	13.4	10.5 (128%)	69.5 (19%)	
その他	37.4	48.5 (77%)	84.4 (44%)	
合計	441.2	711.2 (62%)	911.2 (48%)	

平年は過去10年平均

## 【10月】

タチウオが平年の1.6倍（前年の2.0倍）と好調でした。一方、サワラが平年の4割強（前年の6割弱），マアジが平年の4割弱（前年の7割強），カワハギが平年の3割弱（前年の4割）と低調でした。全体では平年の6割（前年の8割強）と低調でした。

2017年10月の地域別漁獲量(上位5魚種)



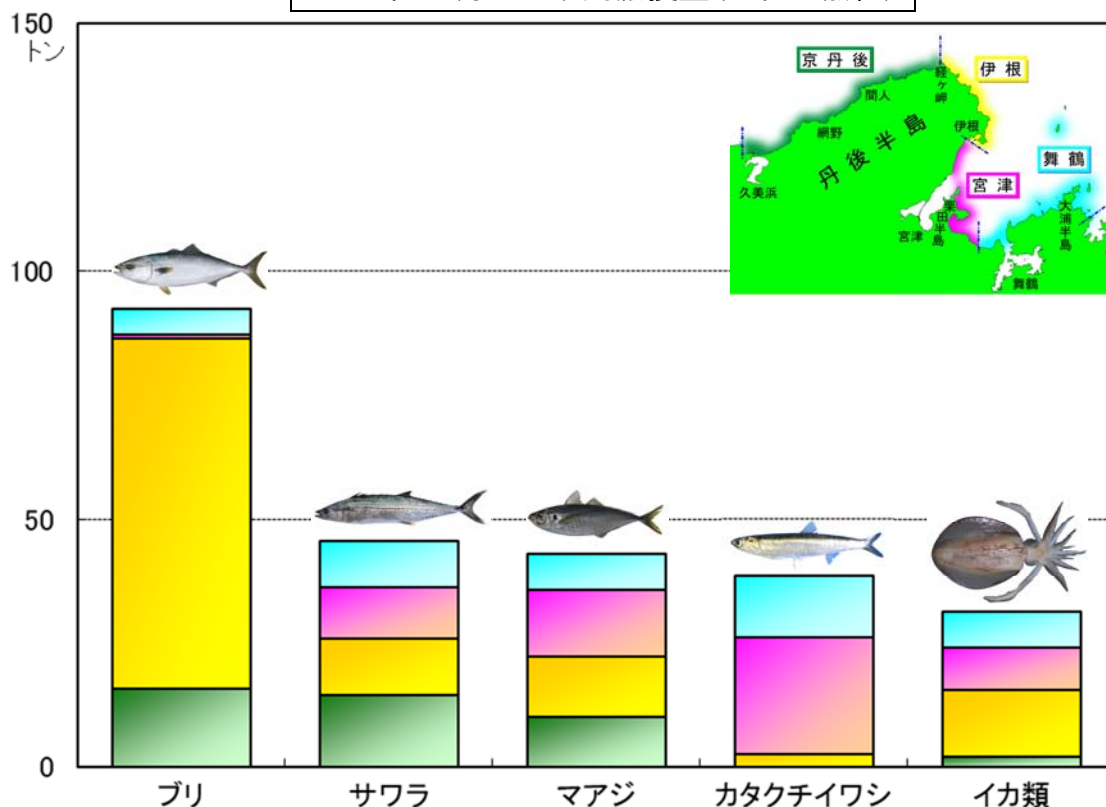
10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	165.5	208.1 (80%)	145.8 (114%)	<ブリ> つばす銘柄が7割強，はまち銘柄が2割強，ぶり銘柄，まるご銘柄がごくわずかでした。
サワラ	108.4	187.5 (58%)	251.6 (43%)	
シイラ	84.5	28.0 (301%)	85.0 (99%)	
マアジ	28.1	39.2 (72%)	81.1 (35%)	<サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が8割弱，さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)が1割強，さわら大銘柄(3.0kg 以上)，やなぎ銘柄(0.4 kg未満)がそれぞれ1割弱でした。
アカカマス	20.5	21.8 (94%)	54.5 (38%)	
イカ類	20.2	15.4 (131%)	33.7 (60%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が8割弱，ケンサキイカ(白いか)が1割強などでした。
メジナ(つかや)	10.6	13.3 (79%)	9.5 (111%)	
カワハギ(丸はぎ)	9.1	22.7 (40%)	32.2 (28%)	
シロサバフグ(さんきゅう)	8.3	3.3 (254%)	10.0 (83%)	
タチウオ	7.1	3.5 (204%)	4.6 (156%)	
その他	59.8	103.1 (58%)	160.2 (37%)	
合計	522.0	645.9 (81%)	868.2 (60%)	

平年は過去10年平均

## 【11月】

スズキが平年の2.1倍（前年の1.3倍）、タチウオが平年の2.5倍（前年の2.2倍）と好調でした。一方、サワラが平年の3割弱（前年並み）、マアジが平年の5割強（前年の6割弱）と低調でした。全体では平年の5割（前年の9割弱）と低調でした。

2017年11月の地域別漁獲量(上位5魚種)



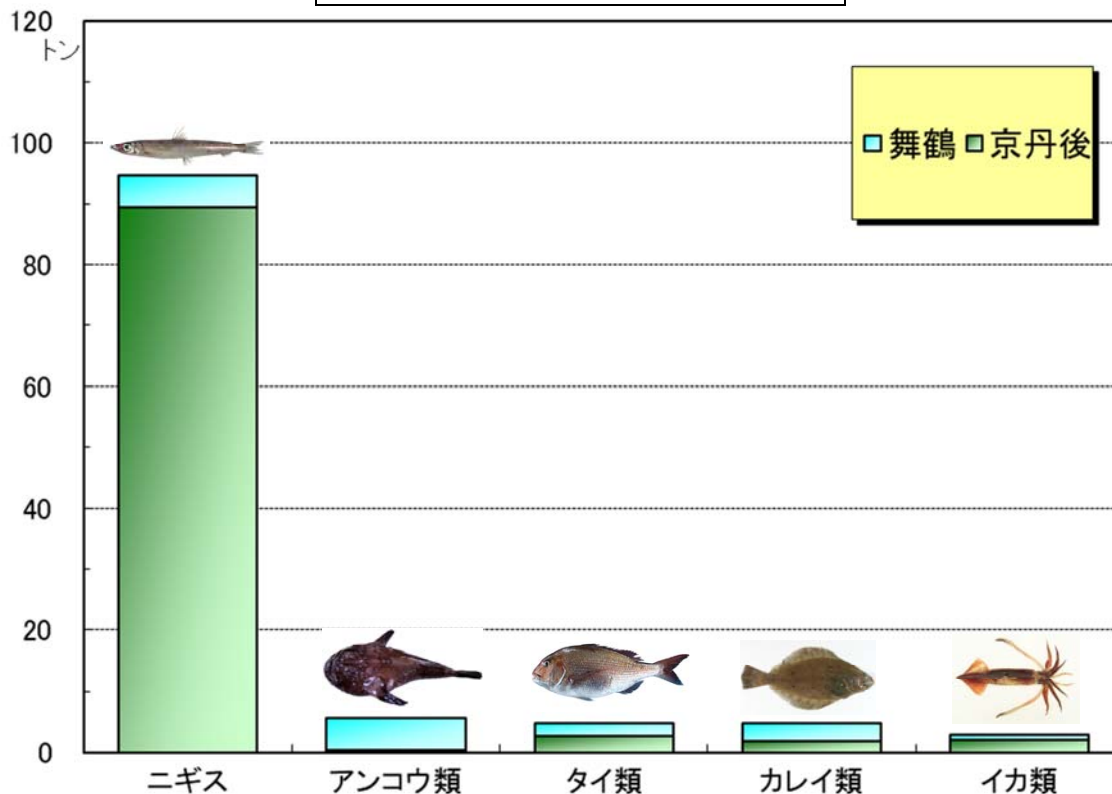
11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	92.3	42.5 (217%)	118.9 (78%)	<ブリ> ぶり銘柄が7割弱, つばす銘柄とまるご銘柄が1割強, はまち銘柄が1割弱でした。
サワラ	45.6	46.6 (98%)	186.0 (25%)	<サワラ> さわら大銘柄(体重 3.0kg 以上)が4割弱, さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満), さごし銘柄(0.4kg 以上 1.0kg 未満)がそれぞれ3割強, やなぎ銘柄(0.4 kg未満)がごくわずかでした。
マアジ	42.9	75.0 (57%)	82.8 (52%)	
カタクチイワシ(たれ)	38.4	22.5 (171%)	55.5 (69%)	
イカ類	31.2	61.2 (51%)	78.8 (40%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が7割強, ソデイカ(たるいか)が2割弱, ケンサキイカ(白いか)が1割弱などでした。
スズキ	23.2	17.8 (131%)	11.0 (210%)	
タイ類	17.7	18.9 (94%)	8.1 (219%)	
カワハギ(丸はぎ)	13.9	37.6 (37%)	29.8 (47%)	
カツオ類	12.7	8.0 (158%)	51.2 (25%)	
タチウオ	12.3	5.6 (220%)	4.9 (252%)	
その他	88.9	147.5 (60%)	216.9 (41%)	
合計	419.3	483.1 (87%)	843.9 (50%)	

平年は過去10年平均

# 《底曳網漁業》【9月】

全体の水揚量は、平年の1.2倍(前年の1.1倍)でした。

2017年9月の漁獲量(上位5魚種)



9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖きす)	94.7	71.9 (132%)	60.7 (156%)	<カレイ類> ムシガレイ(みずがれい)が4割強, ヤナギムシガレイ(ささがれい)が3割弱などでした。
アンコウ類	5.6	4.5 (125%)	10.3 (54%)	
タイ類	4.9	7.6 (64%)	3.6 (134%)	
カレイ類	4.8	9.6 (51%)	16.5 (29%)	
イカ類	2.9	3.5 (82%)	2.6 (110%)	
エビ類	2.2	1.4 (154%)	0.8 (281%)	
マトウダイ(ばと)	1.1	3.5 (32%)	1.3 (88%)	
タコ類	0.8	2.0 (41%)	1.9 (44%)	
メバル類	0.6	0.5 (125%)	0.5 (130%)	
カナガシラ	0.5	0.6 (84%)	0.5 (100%)	
その他	5.7	7.2 (80%)	7.2 (80%)	
合計	123.8	112.3 (110%)	105.9 (117%)	

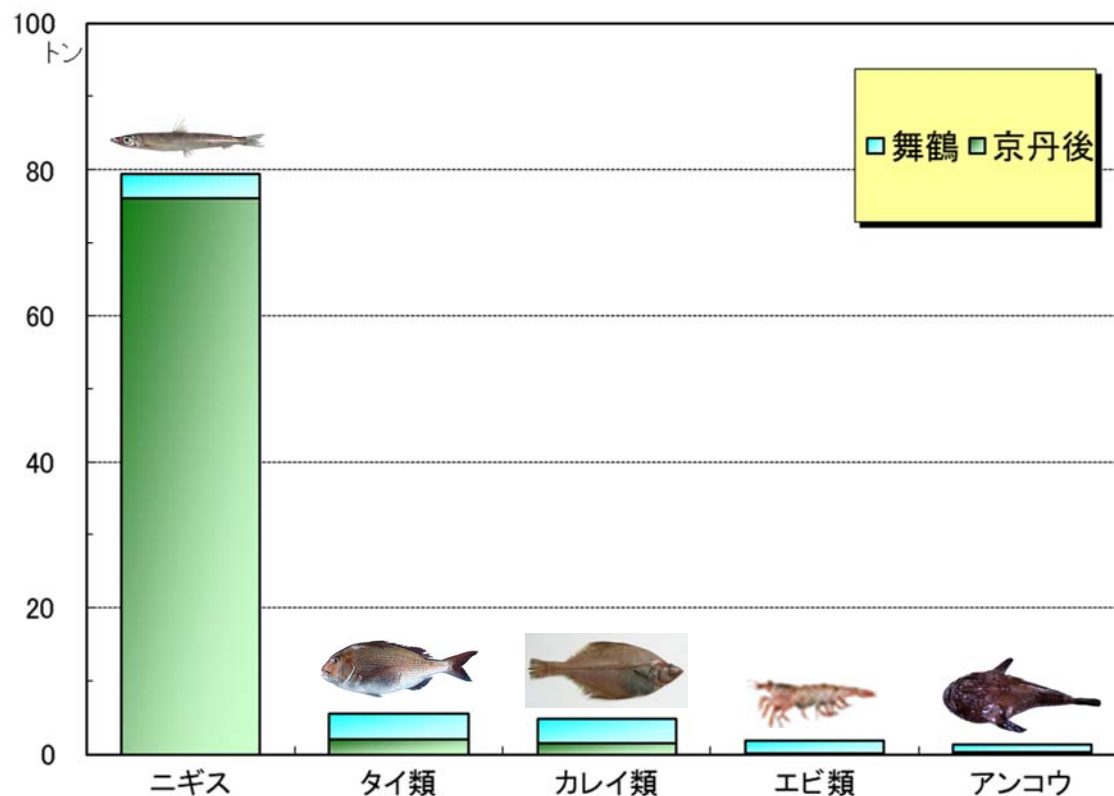
平年は過去10年平均



## 【10月】

全体の水揚量は、平年の1.2倍(前年の1.3倍)でした。

2017年10月の漁獲量(上位5魚種)

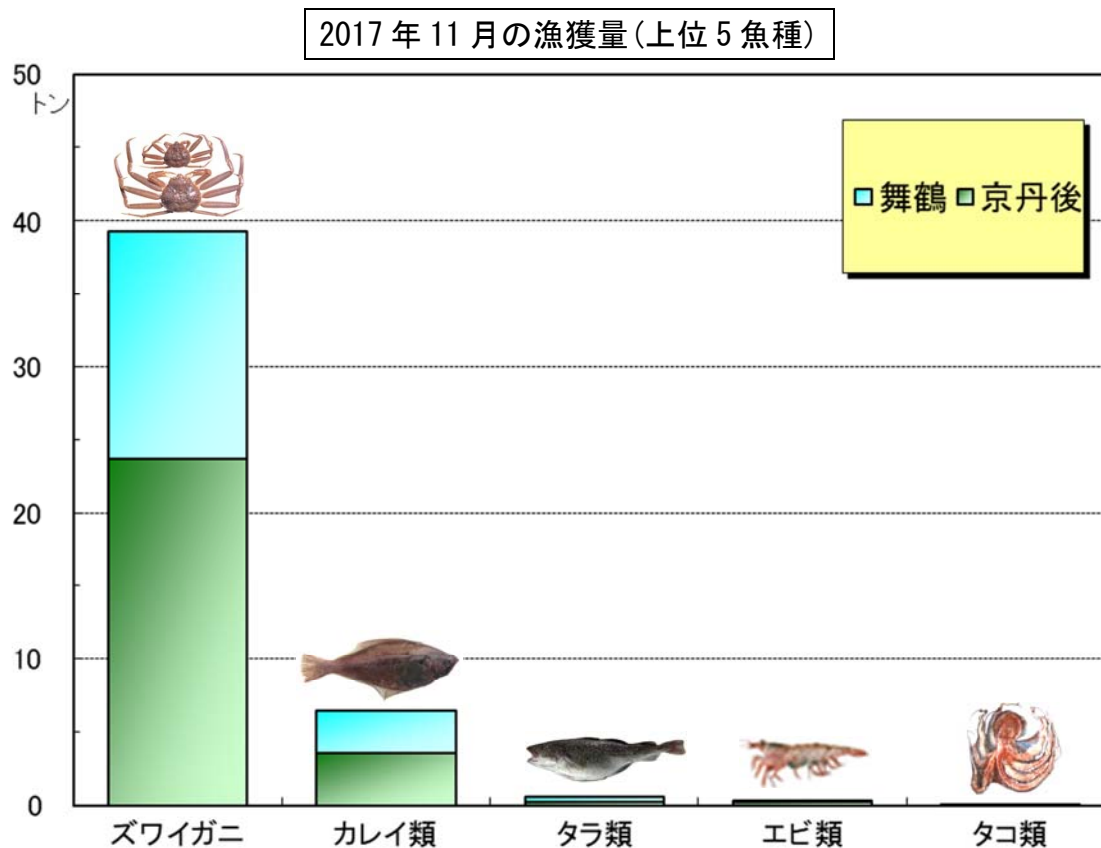


10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス	79.5	47.4 (168%)	39.9 (199%)	<カレイ類> ソウハチ(えてがれい)が3割強, アカガレイ(まがれい)が2割強, ムシガレイ(みずがれい)が2割弱, ヤナギムシガレイ(ささがれい)が1割強などでした。
タイ類	5.6	3.3 (170%)	4.8 (119%)	
カレイ類	4.9	11.2 (43%)	16.8 (29%)	
エビ類	1.8	1.0 (180%)	1.3 (141%)	
アンコウ	1.4	3.0 (47%)	5.7 (24%)	
イカ類	1.3	2.6 (48%)	2.4 (53%)	
マトウダイ	1.1	2.3 (48%)	1.1 (96%)	
タコ類	0.7	1.8 (37%)	2.1 (31%)	
タラ類	0.4	2.2 (19%)	0.9 (47%)	
ナマコ類	0.3	0.7 (43%)	0.1 (288%)	
その他	2.7	3.6 (75%)	5.9 (46%)	
合計	99.6	79.1 (126%)	81.0 (123%)	

平年は過去10年平均

## 【11月】

全体の水揚量は、平年の7割強(前年の9割弱)と低調でした。



11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)		備考
ズワイガニ	39.3	47.0 (84%)	46.5	(85%)	<ズワイガニ> 雄ガニ(間人がに・舞鶴かに)が15.2トン, 雌ガニ(こっぺ)が23.6トンでした。  <カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, クロガレイ(黒かれい)が2割弱などでした。
カレイ類	6.5	5.4 (119%)	14.8	(44%)	
タラ類	0.6	1.6 (35%)	0.5	(105%)	
エビ類	0.3	0.2 (127%)	0.3	(101%)	
タコ類	0.0	0.1 (38%)	0.1	(21%)	
その他	1.9	0.0 —	1.5	(128%)	
合計	48.5	56.7 (86%)	66.6	(73%)	

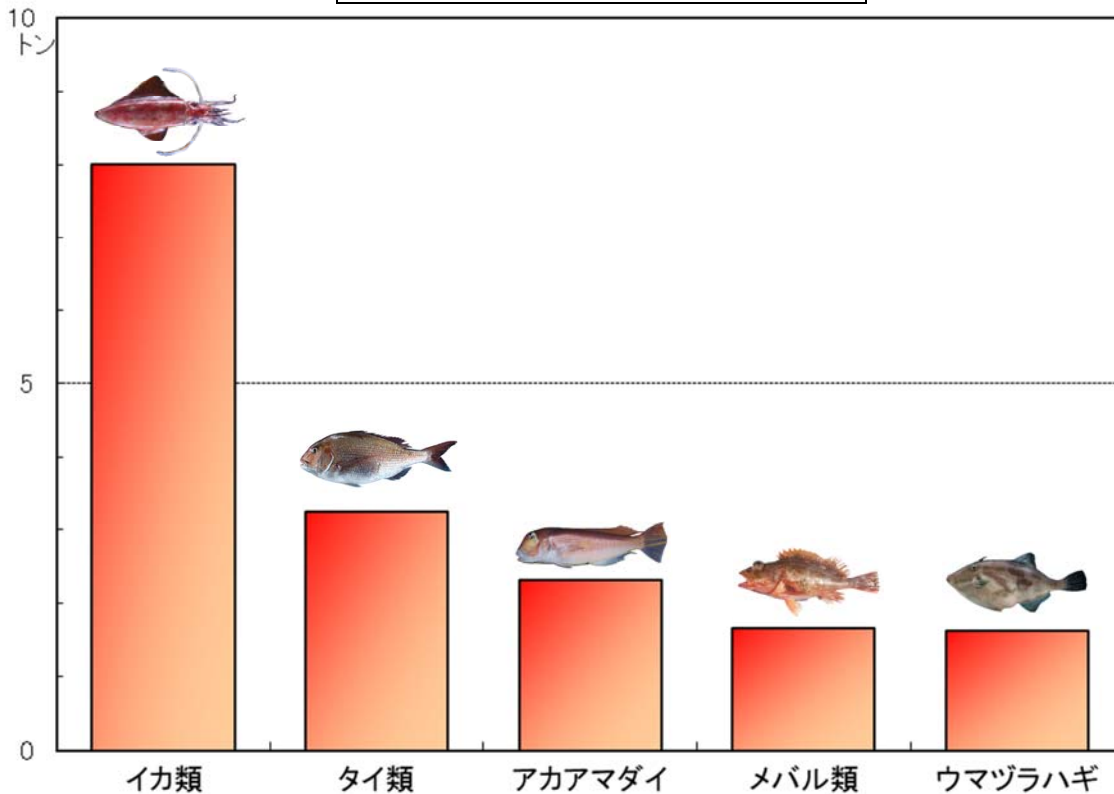
平年は過去10年平均



## 《釣り・はえなわ漁業》【9月】

全体の水揚量は、平年の8割弱（前年の7割強）と低調でした。

2017年9月の漁獲量(上位5魚種)



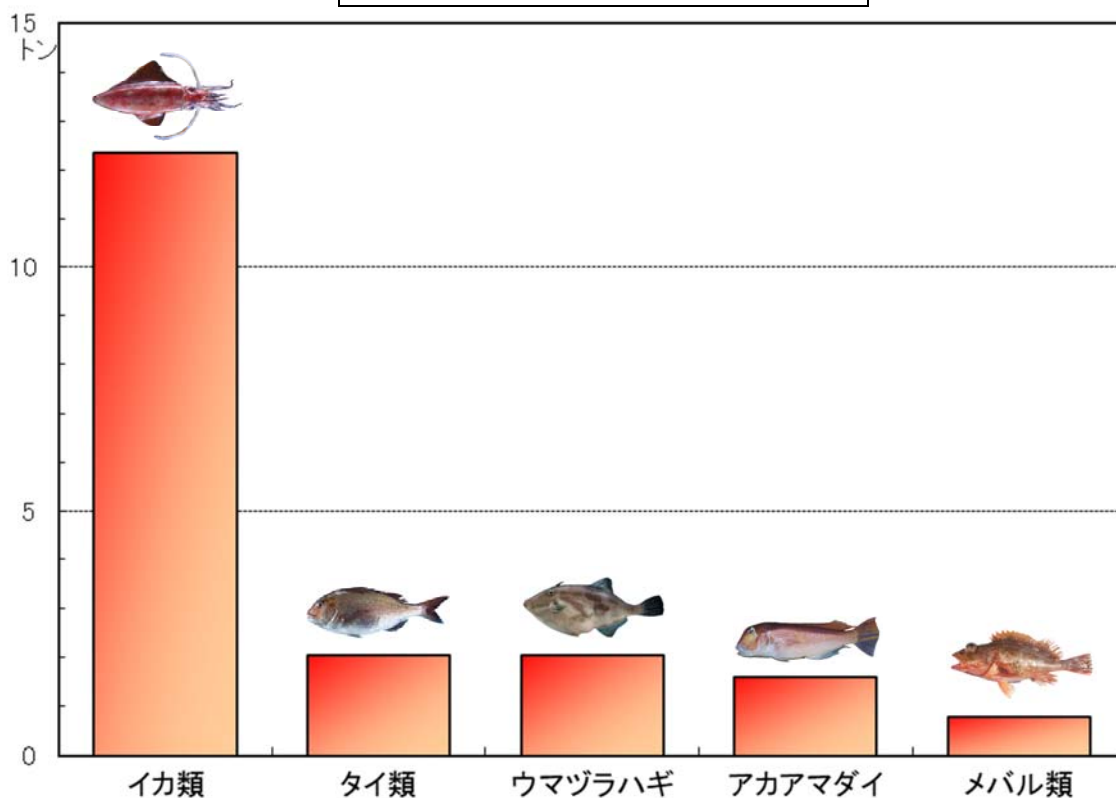
9月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考	
イカ類	8.0	14.2 (56%)	11.4 (70%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が9割弱, アオリイカ(秋いか)が1割弱などでした。	
タイ類	3.3	4.3 (77%)	4.7 (69%)		
アカアマダイ(ぐじ)	2.3	2.9 (80%)	2.9 (79%)		
メバル類	1.7	1.1 (157%)	1.0 (169%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	1.6	0.4 (427%)	1.2 (131%)	<タイ類> マダイが6割弱, キダイ(れんこ鯛)が4割強などでした。	
ブリ	0.5	0.9 (54%)	0.7 (71%)		
サワラ	0.1	0.1 (67%)	0.8 (8%)		
メダイ	0.1	0.0 —	0.1 (74%)		
その他	0.9	0.9 (107%)	1.7 (56%)		
合計	18.4	25.1 (73%)	24.7 (75%)		

平年は過去10年平均

## 【10月】

全体の水揚量は、平年の7割弱（前年の8割弱）と低調でした。

2017年10月の漁獲量(上位5魚種)



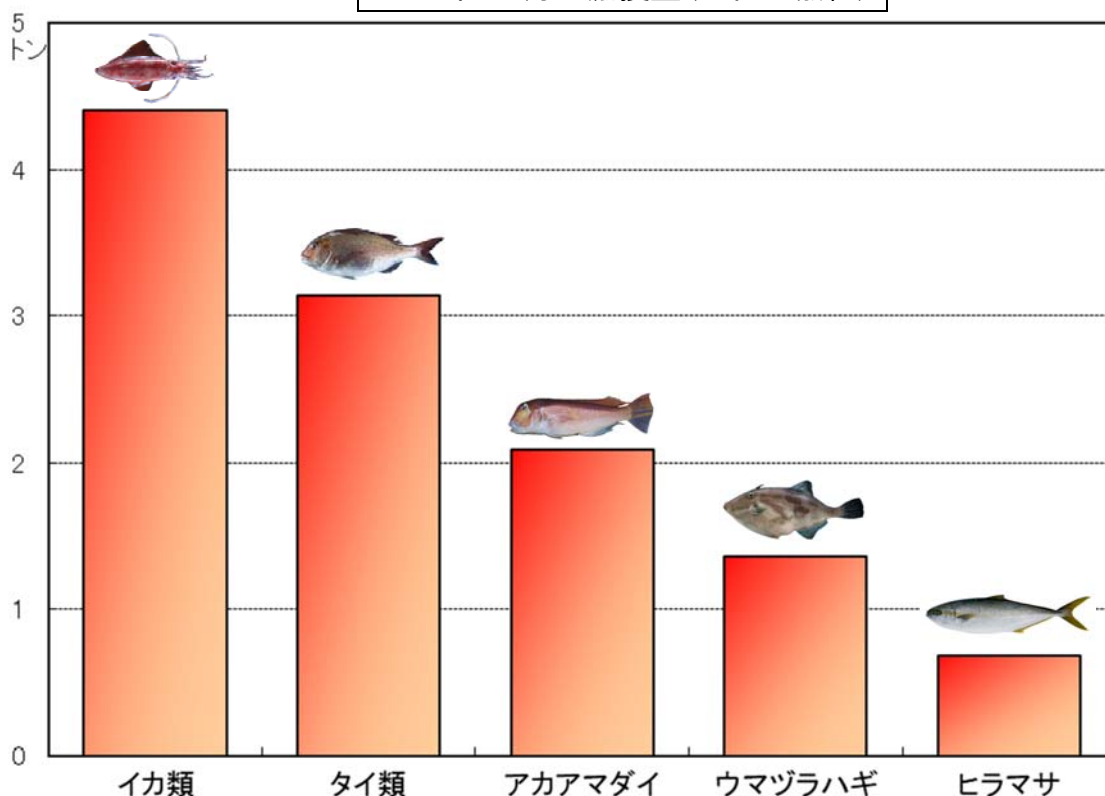
10月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考	
イカ類	12.3	16.7 (74%)	18.0 (68%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が9割強などでした。  <タイ類> マダイが6割強、キダイ(れんこ鯛)が4割弱などでした。	
タイ類	2.0	4.0 (51%)	4.2 (49%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	2.0	0.8 (252%)	1.7 (121%)		
アカアマダイ(ぐじ)	1.6	2.5 (63%)	2.8 (57%)		
メバル類	0.8	1.0 (81%)	0.7 (108%)		
メジナ(つかや)	0.3	0.2 (130%)	0.2 (196%)		
ブリ	0.2	1.1 (23%)	1.3 (20%)		
ヒラマサ	0.2	0.4 (42%)	0.2 (96%)		
スズキ	0.1	0.1 (99%)	0.1 (142%)		
サワラ	0.1	0.3 (50%)	1.0 (13%)		
その他	1.6	0.9 (182%)	2.4 (69%)		
合計	21.4	27.9 (77%)	32.4 (66%)		

平年は過去10年平均

# 【11月】

全体の水揚量は、平年の6割強（前年の9割）と低調でした。

2017年11月の漁獲量(上位5魚種)



11月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	4.4	5.1 (87%)	11.7 (38%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が9割弱, アオリイカ(秋いか)が1割弱などでした。
タイ類	3.1	3.4 (92%)	3.1 (101%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.1	2.2 (94%)	2.6 (79%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	1.4	0.8 (173%)	0.9 (156%)	
ヒラマサ	0.7	0.2 (312%)	0.2 (441%)	
ブリ	0.5	2.3 (20%)	1.7 (27%)	<タイ類> マダイが7割弱, キダイ(れんこ鯛)が3割弱などでした。
メバル類	0.4	0.7 (68%)	0.5 (86%)	
スズキ	0.2	0.1 (287%)	0.1 (179%)	
サワラ	0.2	0.4 (51%)	0.9 (23%)	
イシダイ	0.2	0.1 (226%)	0.0 (488%)	
その他	2.5	2.2 (115%)	3.1 (82%)	
合計	15.8	17.5 (90%)	24.9 (63%)	

平年は過去10年平均